



東稲ニュース

第142号

早稲田大学校友会東久留米稲門会

2025年 7月10日発行

発行責任者 山口 謙二

編集責任者 片平 るみ

E-mail: oyamasahiro1130@gmail.com

http://higashikurume-toumonkai.com/

事務局 大矢 真弘 TEL 042-475-8532

会の告知板

【部会予定】

7月 29日 (火)	カラオケ部会	18:00	オンチッチ
8月 3日 (日)	第3回役員会	16:00	生涯学習センター
8月 7日 (木)	グルメ部会	13:00	「唐苑」ひばりヶ丘
9月 25日 (木)	映画鑑賞会 「東京物語」	14:00	成美教育文化会館
11月 8日 (土)	秋の懇親会	13:30	成美教育文化会館
11月 27日 (木)	映画鑑賞会	14:00	成美教育文化会館

【大学・校友会関係】

9月 7日 (日)	三多摩支部大会	大隈小講堂
9月 25日 (木)	稲門祭実行委員会	早稲田大学
10月 4日 (土)	秋季幹事長・事務局長会	早稲田大学
10月 4日 (土)	秋季代議員会	早稲田大学
10月 19日 (日)	稲門祭	早稲田大学
10月 25日 (土)	小平稲門会総会	小平市民文化会館
11月 22日 (土)	東村山稲門会総会	サンパルネコンベンションセンター
11月 29日 (土)	23区部・三多摩支部合同会長懇話会	大隈記念タワー「森の風」

<各部会定例活動一覧>

部 会	7 月				8 月			
	日	曜	時間	場所	日	曜	時間	場所
女性サカケ	9	水	10:00	中央町地区センター	休 会			
書 道	13	日	12:40	生涯学習センター	10	日	13:00	スペース105
俳 句	20	日	10:00	生涯学習センター	17	日	10:00	生涯学習センター
囲 碁	27	日	13:00	中央町地区センター	24	日	13:00	中央町地区センター
太極拳	5	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	9	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	12	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	23	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	26	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	30	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
バドミントン	毎週金		10:50~	東久留米スポーツセンター	毎週金		10:50~	東久留米スポーツセンター
ソフトボール	14	月	11:00~13:00	南町運動広場	18	月	11:00~13:00	南町運動広場
	28	月	11:00~13:00	南町運動広場	25	月	11:00~13:00	南町運動広場
ボッチャ	7	月	13:20~15:50	東久留米スポーツセンター	9	土	13:00~15:30	東久留米スポーツセンター
	12	土	13:00~15:30	東久留米スポーツセンター	26	火	11:20~13:30	東久留米スポーツセンター
コントラクト ブリッジ	4	金	14:30~17:00	東部地域センター	1	金	14:30~17:00	東部地域センター
	18	金	15:50~18:50	生涯学習センター	8	金	15:50~18:50	生涯学習センター

会の報告

◎第1回役員会報告

2025年度第1回役員会が6月1日(日)16時～生涯学習センターにて開催された。

<議事録概要>

以下の事項について報告や意見交換が行われた。

1 第31回定時総会の件

- (1) 反省事項等 特になし。
- (2) 次年度総会

2026年4月18日(土) 成美教育文化会館 1階ギャラリー

2 2025年度会員の状況

- (1) 6月1日現在の会費納入、未納者状況
 - ・納付者：112名 *未納会員数 18名
- (2) 未納会員への督促について
 - ・7月の東稲ニュース配布時に督促状を出す。

3 本年度の行事予定、担当者

(1) 役員会

8/3(日)・10/5(日)・12/7(日)・2026年2/1(日)・4/5(日)

(2) 秋の懇親会の日程等

実施日：11/8(土)

会 場：成美教育会館3階大研修室

案 内：会員並びに20代～40代の校友(ご招待)

*9月10日発行の東稲ニュース *申込締切：10月15日(水)

余 興：マシバ演奏DUO「MSMエムエム」に出演依頼の予定 謝礼は2万円

担 当：大矢

(3) 役員・部会長・会長経験者忘年会の日程 12/7(日)

(4) 新年会の日程 2026年1/17(土) or 1/18(日) or 1/24(土) or 1/25(日)

<練馬稲門会主催のニューイヤークンサートの日を避ける。>

4 2025年度会員名簿印刷等について

- (1) 会員氏名、会員情報の非表示項目等の確認
- (2) 各部会の部会長の確認
- (3) 発行は7月10日

5 広報関係

(1) 東稲ニュース 編集案概要と原稿執筆依頼

原稿締切：6月25日(水)

印刷日：7月3日(木)15時～印刷、16時～作業(学習室4)

6 稲門祭記念品の販売状況等

- ・目標金額13万円のところ、22万円の販売額達成(6/1現在)
- ・景品の寄付・・・2万5千円程度 柳久保かりんとう(400円)50袋程度

7 映画鑑賞会

5/22(木)「夜の大捜査線」

*その後の日程は、9/25(木)「東京物語」、11/27(木)の予定。

8 サークル・部会関係

- ① 女性サークル ②ゴルフ ③囲碁 ④俳句 ⑤書道 ⑥太極拳



- ⑦グルメ ⑧ウォーキング&山歩き ⑨カラオケ ⑩スポーツ観戦
⑪諸芸術鑑賞 ⑫バドミントン ⑬マグカップの会 ⑭ソフトボール
⑮ボッチャ ⑯コントラクトブリッジ

*次回役員会 8月3日(日) 16:00 生涯学習センターの予定

部会だより 【活動報告】

<ゴルフコンペ> 春の三田会との懇親コンペ

今年初の真夏日となった5月20日、飯能グリーンカントリークラブにて開催しました。幹事金子の勘違いで3月の三田会コンペを合同の懇親コンペと案内、開催した為と体調不良者が多かったこともあり今回は参加者が三田会5名、稲門会は清水宏和さん、金子の2名の参加、2組でちょっと寂しいコンペとなりました。それでも爽やかな風、美しい新緑の中で楽しくラウンドできました。優勝はハンデに恵まれた金子、準優勝は清水さんで稲門会のワンツーでした。清水さんは前回に続きグロスも2位と健闘しました、ベスグロは1人だけ100を切った三田会の高柳さんでした。



○優勝者コメント(金子)

自分のホームコースでもあり、優勝はともかく好スコアを期待していたのですが、力が入りすぎたようで不調、ショットはまあまあだがパットが入らず苦労し、おまけに入れないバンカーに入れ脱出できずにこのホールだけで10打も打ち、今年のワーストスコアを更新してしまいました。ところが何が幸いするかわかりません。終わってみればこのホールがハンデホールとなり、見事(?)優勝でした。

金子 孝司 記

<スポーツ観戦部会>

6月1日(日)役員会は野球早慶戦第2戦。前日雨中の試合は現場観戦。快勝したので第2戦に勝てば明治との優勝決定戦へ。役員会の場で編集委員の片平さんに「優勝したら記事書きます」などと極めていい加減な約束をしていたら第2戦も勝利して決定戦進出。やむを得ぬ理由で肝心の決定戦の現場観戦は出来ませんでしたが、(明治戦第2戦から、早慶戦、決定戦までの)小宮山監督いうところの「怒涛の5連勝」で春季リーグ戦を制覇。と、ここまでは良かったのですが、(物好きにも)行った東京ドームでの大学選手権2回戦はコールド勝ちで一人祝杯。(さらに物好きにも)行った神宮での準決勝は屈辱のコールド負け一人自棄酒。これで私の春季観戦は終わりました。リーグ戦・選手権合せて8試合見て、6勝2敗。最後は残念でしたが勝率7割5分は良しとしましょう。小宮山監督は選手権でのコールド負けの屈辱を踏まえて、夏「徹底的に」鍛えらるおっしゃっているそうですから秋を期待したいと思います。ところで、肝心要の早慶戦ですが、予約で8席を確保したものの当日の悪天候で実施発表がギリ

ギリで、且つ試合開始も1時間遅れになってしまった為、結果的に観戦者は私を含め3名でした。

秋は好天を期待して多数の方々と観戦したいと思います。

山口 謙二 記

＜書道部会＞

今年の梅雨は明けたかと思うような6月19日（木）、平山正経書道部長が出展している第53回「日本の書展」（於：国立新美術館）を鑑賞してきました。

「日本の書展」は会派を超えた全国展で、現代書壇の最高峰の方々の作品が一堂に集められた貴重な作品展でした。

当会の書道部では漢字の作品を書くことを主に行っておりますが、今回の作品展では平仮名と漢字の両方を使った作品も多く展示されておりました。私にとって平仮名は難しく漢字のみを書いておりましたが、平仮名も書けると違った趣が出て良いなあと感じました。また、何という文字が書かれているかわからないけれど、作品のパワー、全体のバランスの良さ等にはいつも感心させられます。今年の秋には作品展を開催するので、少しでも真似ができればと思い鑑賞してきました。

鑑賞後は安次嶺氏御用達、六本木の東京ミッドタウンのフード&カフェコーナーにてお酒とランチを楽しみ、ほろ酔い気分で東久留米に戻ってきました。

書道部は新会員を募集しております。未経験の方、大丈夫です！墨汁の香りも良いものです！！

大矢 真弘 記



＜囲碁部会報告＞

久しぶりに ALL 早稲田の囲碁大会に出場する気持ちになりました。自信はなかったけれど大会を盛り上げていかねばと考えたのです。都内近隣の稲門会から今回は80名の参加者でした。以前は200ほど。Aクラスは五人づつの四チームの対戦 Bクラス同じく四チーム Cクラスは六チームの3番勝負となっていた。我らの仲間の西東京の秋本六段は強豪チームの永楽倶楽部Bから出場されていました。

私は個人戦に配分され、西東京の栗林六段 渋谷の渡辺三段 松本三段との四名での対戦となりました。個人戦の結果は 2勝一敗が二人 一勝二敗が二人 栗林さん2位私は3位でした。栗林さんとは稲門会囲碁部の宿で初対戦し見事に負けました。翌日雪辱戦を挑み、劣勢を大逆転で勝ち、決着をつ



けることとなり運よく勝利した経験がありました。なんと十年ほど前の話です。栗林さんから「十年ぶりに勝った」と一言いただきました。

東稲囲碁部としては無念の結果でしたが 渋谷のお二人とも仲良くなり私には三位なのに金一封千円を頂戴いたしまして「来年は頑張るぞ〜」という気持ちにさせられました

。 中村 敏明 記

<俳句部>



第 297 回 5 月 18 日(日)

兼題： 初夏・空を詠み込む 他当季雑詠二句

<高点句>

農鳥のうかぶ山肌夏はじめ

橘優治

雨上がり光のなかの柿若葉

川島知子

<自選一句>

風に乗り初夏の両国触れ太鼓

上原徹也

堰の度形を変える花筏

比護喜一郎

初夏やおにぎり二つ飯行李

三浦洋子

恋すれば二人で翔びたい初夏の空

馬場清彦

青空と風と遊べるシャボン玉

片平るみ

ふるさとの空広かりき鯉のぼり

杉本達夫

第 298 回 6 月 15 日(日)

兼題： 夏の衣類・色を感じる句 他当季雑詠二句

<高点句>

軽やかに夏服を着る風を着る

片平るみ

白靴の一步一步や幼き子

三浦洋子

<自選一句>

梅雨に着る妻の残せし派手なシャツ

馬場清彦

何故か好き生成りちよいれ麻上着

上原徹也

田に植えし苗一寸の緑かな

川島知子

羅の衣ひらめきすれちがふ

横田慧子

甚平着て家の戸すべて開け放つ

橘優治

俳句部員だった比護喜一郎さんが、6/3 に急逝されました。比護さんは東久留米稲門会の立ち上げメンバーのお一人でもあるし、俳句部へも部の設立早々に入部され長い句歴をお待ちです。

比護さんは大変スケールの大きな句を詠まれることがありました。

大根を抜かば大地の息吹あり

地の底の活断層や青き踏む

また、優しい眼差しを感じる句もあります。

補助輪を外し少女は春の道

梅便りギブスの足を愛おしむ

仲間やこの地のことも句になりました。

初富士やよくぞこの地に生まれけり

居酒屋によき仲間たち秋刀魚食う

もう比護さんの新たな句を目にすることはできなくなってしまい、本当に寂しい想いがいたします。

比護さん、さようなら。どうぞ安らかに眠りください。

片平 るみ 記



＜ソフトボール部会報告＞ 野球・ソフトボールの思い出

野球を始めたのは、小学校の手打ち野球からです。ルールもあまり分からなかったのですが、見よう見まね、いつもどこからともなく（悪）ガキ達が集まってきて近所の原っぱ、公園で楽しみました。人数の足りないときは三角ベースにして工夫したものです。

小学校高学年になると、放課後のソフトボールクラブのようなものに参加しました。先生からキャッチボールの仕方、バットの振り方、ルールなどを指導してもらい、ノック、試合と、レベルが徐々に上がって、最後は小学校の代表チームができあがりました。

同じ様な活動をしていた近隣の4校で、対抗戦が行われるまでになったのです。私はショートを守っていて、痛烈なショートライナーをジャンプしながら捕球し、先生に甚く褒められ、鼻高々になったのを今でも覚えています。

そして事件が起きました。中学生になり、クラブ活動に軟式野球も視野に入れていたのですが、初めてその野球の試合を見学した時、（現在はそんなことはないと思いますが）相手投手や、バッターに対する「野次合戦」の内容があまりにもひどく、当時の（純粋だった？）私には聞くに堪えないような言葉を投げ合っていたのです。そんな「野次」を自分も思いつかないし、言われたくもない、野球は選択肢から外れました。

大学時代、否が応でも早慶戦にかかわらなければいけませんでした。（とても信じてはもらえないでしょうが）神宮球場の構内で徹夜で麻雀をしながらサークルメンバーの席取り・観戦に備えたこともありましたね。サークルの女子達が、夜の9時くらいに、手作りの「おにぎり」を差し入れに来てくれたのも、今となっては有難く、信じられない思い出です。

入学早々優勝したものの、その後、早稲田は優勝に届かなかったのです。が、大学4年の秋のシーズン（前阪神監督の岡田選手などが活躍して）、早稲田が優勝、合わせて、ひそかに応援していたヤクルトスワローズ（広島監督）が優勝、と大学時代を気分よく終えられました。

教員になってから野球に関わったのは二つ。一つは、地元（北区・十条）の軟式野球チームに入ったことです。居酒屋の常連達で結成されたチームで、レフトを守り、タッチアップを阻止するような捕球・送球をしたのは覚えています。

また、後にも先にもこれが最後ですが、ある時（20代後半ぐらい）、荒川河川敷での試合で、思いがけなく無我夢中で振ったバットに、たまたまボールが当たり、3ランホームランを打ったこと（ボールは荒川に吸い込まれていった）は野球経験の中での唯一の勲章なのかな？と、思っています。

二つ目は、30代中頃の学校行事のものです。私の勤務校では、夏に中学生が参加する、林間学校のような「勉強」を主体とする合宿があります。勉強だけでは、ということから、一時限（90分）だけ体育の時間が設けられ、その時間に、生徒達はソフトボールで運動不足解消というわけです。

私自身は打席に立たず、両チームのピッチャーとして、試合全体をコントロールしました。生徒たちは、勝っても負けても思いっきりソフトボールを楽しんでましたね。あの頃は運動神経のいい野球・サッカー・バスケット部等の生徒から三振、内野ゴロ、内野フライにしとめられた、ピッチャーとして配球も考えた、本格的なボールを投げられたのですが、今は、、？

その後、野球に関しては空白の時間が30年。しかし、3年前、ヤクルトスワローズが久しぶりに優勝して、また野球に関心が向きました。ふと、ここまで綴ってきたようなことが走馬灯のように思い起こされて、ソフトボール部に所属させていただきました。

結局、一度はあれだけ嫌になった「野球」は、私の人生の節目節目には身近な存在だったということだと思います。



追記：先ほど、長嶋選手の訃報に触れて思い出しました。後楽園球場で彼が、『私はここで引退しますが、我が巨人軍は永久に不滅です！』と語った言葉は、予備校の教室で聞きました。 片野 尚樹 記

<女性サークル部会>



平櫛田中 作 鏡獅子

風薫る 5 月 15 日、女性サークルでは西武多摩湖線「一橋学園駅」から 10 分の平櫛田中彫刻美術館へ出掛けました。

田中が暮らした記念館は耐震工事中でしたが、丁度「おとこざかりは百から」の企画展開催中で国立劇場にあった有名な「鏡獅子」や様々な彫刻や書を鑑賞し、100 歳の時に 30 年先まで彫れるクスノキの原木を購入。「いまやらねば いつできる わしがやらねば たれがやる」との言葉を残した田中の不屈の精神に感動しました。

その後玉川上水の小道をエゴノキの花の香るなか、国分寺へ出て「イエノウエノカフェ」にてランチタイムを愉oshimしました。 坂本 洋子 記

<ボッチャ部会>

2025 年 6 月 21 日、『第 6 回くるめカップボッチャ大会』が開催され、出場チームも 24 チームに増え、東久留米稲門会からも 3 チームが出場をしました。6 ブロック 4 チームの総当たりで各ブロック 1 位、2 位チームが 1 位、2 位の決勝トーナメント、各ブロック 3 位、4 位チームが 3 位、4 位の決勝トーナメントへ進みました。

出場チーム及び成績

坊ちゃんズ A 渡辺真司、坂井淑晃、清水宏和

予選ブロック 1 勝 2 敗で 3 位、4 位の決勝トーナメントに進み優勝

坊ちゃんズ B 高橋哲男、小山田朋樹、新井真

予選ブロック 2 勝 1 敗で 1 位、2 位の決勝トーナメントに進み 4～6 位

坊ちゃんズ C 川瀬晃、渡辺昌子、小山田通子

予選ブロック 1 勝 2 敗で 3 位、4 位の決勝トーナメントに進み 4～6 位

東久留米市も健康管理のため、ボッチャを普及しており、くるめカップボッチャ大会の出場チームも前回より 5 チーム増加しています。特に今回は小中学生を含め若いチームの参加が目立ちました。競技レベルも全体的に上昇しており、弊部会も次回 10 月 25 日の大会に向け対応を検討する必要があると思いました。一方、初参加の新井さんから参加して楽しかったとの話があり、大会参加についてその考えが根底と思います。

尚、ボッチャは、楽しいスポーツです。高齢者でも楽しく技術力も向上できる誰でもできるスポーツです。是非、見学・体験をお勧めします。 高橋 哲男 記



部会だより 【今後の予定】

<夏のカラオケを楽しむ会のご案内>

この6月3日、比護先輩が亡くなりました、ちょっと寂しい「カラオケの会」になりそうですが、あの比護先輩のことですから、「俺に関係なく楽しくやってくれよ」と言っているような気がします。

今年も下記の要領で「夏のカラオケを楽しむ会」を開催いたします。ご参加の方は、7月18日（金）までに、恒例によりまして、お一人様3曲ずつ、ご参加の連絡の際に、「曲名・歌手名」をお知らせ下さい。その際にノンアルコールの方はご申告ください。皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

記

日時：令和7年7月29日（火）18時～

場所：オンチッチ（東久留米市東本町1-9・TEL 042-477-7333）

会費：5,000 円

連絡先：後藤 秀作 携帯 070-2621-6822

メールアドレス shu.goto1949@gmail.com



後藤 秀作 記

<夏のグルメ部会のご案内>

期日：8月7日木曜日

会費：4000 円

場所：ひばりヶ丘 唐苑

行程：13時00分ひばりヶ丘駅改札口前集合 北口徒歩1分



まずもってグルメ部会に皆勤でありました比護さんのご冥福をお祈り申し上げます。

さて今回は色々の考えた上で、「ひばりヶ丘 唐苑」に決めました。東久留米稲門会の皆様は清瀬の中華の名門「同心居」はよくご存知だと思いますが、そこに勝るとも劣らないお店がひばりヶ丘にあるんですよ。唐苑のチーフシェフの夏令民氏は中国・大連の有名海鮮料理店の料理長で有りましたので間違いありません。定番のエビチリや麻婆豆腐そして名物黒酢豚、手作り小籠包等、本格的中華料理で楽しめますし、バイキング式での お粥・スープ・小菜 と きめ細かいおもてなしで、とてもいいお店です。夏バテ解消の為に、奮ってのご参加をお待ち申し上げます。

尚 二次会は東久留米駅近くで予定しています。

吉田 清郎 記

連絡先 吉田清郎 042-424-8090 アドレス hibari_y@ybb.ne.jp

大矢真弘 042-475-8532 アドレス oyamasahiro1130@gmail.com

保険のおはなし

「主催者賠償責任保険加入」について

昨年、コンサート開催を機に加入しました題記保険を更新しましたのでお知らせします。本保険の期間は1年です（当年7月1日より翌年7月1日まで）。この保険は「損害保険」ではなく「市内の社会教育活動で主催者の運営上の不備が原因で、法律上の賠償責任を負う場合に主催者が被る損害を補填する」事を目的としています。当会が東久留米市に申込み、市が保険会社と契約する形態です。市の文化協会の担当者に伺ったところ、多くの団体が加入しているとの事ですが、昨年は事案発生はなかった由。当会の部会活動で若しこの保険に該当すると思われるような事がありましたら、申込者である私にご連絡頂きたく存じます。但し「法律的に」賠償対象になるか否かは市と保険会社の判断になります。

山口 謙二 記

「スポーツ保険」について

この保険は「公益財団法人スポーツ安全協会」が運営している保険です。稲門会の活動としてスポーツ等を行う際、①障害保険 ②賠償責任保険 ③突然死葬祭費用保険 の三点が保障されます。スポーツ活動中に限らず、往復での事故もカバーされます。バドミントン部では7年ほど前から加入し、①の傷害保険を何名かが受け取りました。保険料は65歳以上で年に1200円、補償内容の一例になりますが、通院1回につき1000円の補償金が支払われます。稲門会では現在バドミントン部、ソフトボール部合わせて32名が加入しています。また、スポーツ系だけではなく、文化系の部会活動にも適用されます。加入されたい方は、部会長を通じて申し出てください。詳しいことをお知りになりたい方は、大矢事務局長までご連絡ください。

片平 るみ 記

皆さまからのおたより



NPO法人「国際書画交流会」(理事長兼会長福田稔)主催の第26回展覧会を、去る3/26～3/31に東京都美術館で開催いたしました。この展覧会には、海外13カ国(中国、台湾、韓国、香港、アメリカ、タイ、シンガポール、ドイツ、インド、マレーシア、シンガポール、リトアニア、ルーマニア)から250人来日、500点もの作品が寄せられ、成功裡に終えることができました。最優秀賞には、文部科学大臣賞を授与したほか、優秀賞40点も表彰いたしました。

2年後には、中国出身で日本在住20年以上で構成される「芸術東京」と併催でさらに大規模な展覧会を予定しておりますので、どうぞご期待ください。

福田 稔(雅号秀仙) 記

東稲広報室

<本間信一会員100歳に！>

当会員の本間信一会員(S24 理工卒)が、2025/6/1に満100歳を迎えられました。稲門会始まって以来の慶事です。お祝いの花束を持ち、山口会長と大矢事務局長が本間さん宅を訪問いたしました。本間さんは、娘さんと暮らしながら、とてもお元気なご様子だったそうです。目指すは日本一の高齢者ですね。これからもお健やかにますますご長寿を重ねられますよう、お祈り申し上げます。



<新役員です！>

この度、新任役員となりました茅野裕司(昭和58年法学部卒)です。よろしくお願い致します。

3歳頃より実家は浅間町にありましたが、中学高校は一時的に埼玉県川口市住まい、大学卒業後は、全国展開の会社に入社したため、転勤(福岡市、横浜市、青森県大間町、北九州市、広島県竹原市)と結婚(千葉県に自宅購入)のため、実家を離れての暮らしが長く、父母亡き後空家となっていた実家に戻ったのは13年前からとなります。

父や高校時代の友人が50歳前に早逝したことや、何人かの会社先輩が退職後すぐに亡くなったこと、在職中から書き留めていた「退職後にやりたいことリスト」が相当量溜まってきたこと等もあり、「身体

の動く元気なうちにやりたいことをやろう」と60歳定年で退職しました。

今は、趣味のアルトサックス（四半世紀続けている割には全く上達しません）、在職時より憧れていた京都探訪寺社巡り、そして何か役に立てることをと参加した東久留米市市民大学中期コースの運営委員ボランティア等、緩く楽しみながら活動しております。

転勤を繰り返していたこともあり、大学名簿への記載を断っておりまして、ずっと当会とは疎遠になっておりましたが、数年前に小牧先輩からお声掛けいただいたのがきっかけで入会した次第です。性格的に思ったことをすぐ口にしてしまうこと、人の顔を覚えるのが苦手なこと等、皆様にご迷惑をお掛けするかも知れませんが、何卒今後ともご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。 茅野 裕司 記

<新編集委員です！>

☆「編集委員になりませんか？」と誘われた時、本当にびっくりしました。在職中に、『学年通信』と称して、学校行事の予定、学習アドバイス、定期試験の講評等を何年にも渡り作成してはいましたが、稲東ニュースの編集は、これとは全く別物と承知しております。諸先輩方の指導の下で、頑張りたいと思います。 片野 尚樹 S54 教

☆この度、有賀さん・片平さんのサポートで編集に参加させていただきます山縣（S58 理工）です。先日の年度総会で近隣の稲門会の皆様とお話させていただきましたが、東久留米稲門会の活動がとても活発で羨ましいとお褒めの言葉を頂きました。山口会長・大矢局長のリーダーシップや各部長や役員の皆様のご活躍のお陰ですが、「東稲ニュース」の役割も大きいと思いますので、頑張ります。会員の皆様にも、積極的な投稿・情報提供を宜しくお願い致します。 山縣 俊夫 S58 理工

<「オペラを楽しむ会」（清瀬稲門会主催）のご案内>

清瀬稲門会主催の催しですが、オペラ好きの方がいらっしゃればと思いお知らせします・

- ・日時 8月10日（日）13：00 開場 13：30 開演
- ・場所 アミューホール（清瀬駅北口徒歩1分）
- ・演目 「ニーベルングの指環 第1夜 ワルキューレ」
（ベルリン・ドイツ・オペラ 2021年）

入場無料ですが資料を頂けるので200円のカンパをお願いします。



山口 謙二 記

<稲門祭記念グッズ>

皆さまのご協力により、記念グッズの売り上げが22万円となり、目標の13万円を超えることができました。ありがとうございました。記念品を購入した方を対象に行われる福引の番号は以下の通りです。

10/19の稲門祭当日に結果がわかりますので、お楽しみに！

稲門祭 福引番号（敬称略）



安次峰暁（4274・4275・5781）、有賀千歳（4286・4287・5782）、有賀まゆみ（5783）、井坂宏（5784）、石田孝司（5785・5786）、上原徹也（4288・4289・5787・5788）、大塚和恵（5789・5790）、大矢真弘（4290・4291・5791・5792）、小野泰右（5793・5794）、小山田朋樹（4292・4293・5795・5796・5797）、片平るみ（5798・5799）、片平邦昭（4294・4295）、金子孝司（4296・4297）、川瀬晃（4298・4299）、吉川明美（5800）、坂井淑晃（5801）、坂本洋子（5802・5803）、佐藤一郎（4300・4301）、清水正弘（5804・5805）、清水宏和（5806）、高田明子（5807・5808）、高橋哲男（4302・4303・5809・5810・5811・5812）、橘優治（5813・5814）、東海俊孝（4304・4305）、中村敏明（5817）、長瀬邦子（5815・5816）、比護喜一郎（5818・5819）、平山正徑（4306・4307・5820・5821・5822・5823）、別处尚志（4308・4309）、帆角信美（4310・4311・5824）、松崎勉（4326～4335）、松崎洋子（5825・5826）、三浦洋子（5827・5828）、山岡恭子（5829・5930）、山縣敏夫（4312・

4313)、山口謙二(4314・4315)、渡辺真司(4318・4319)、渡辺徹(4316・4317)、東郷葵(4320・4321)、古川盛之(4322・4323)、関谷文男(4324・4325)、小林道子(5831・5832)、新井真(5833・5834)、渡辺昌子(5835・5836)、酒巻千賀(5837・5838)

<ポストマン区割表>

本年度のポストマン区割表を以下のように作成致しました。経費削減のため、ご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

事務局

地区名	担当者	地区名	担当者	地区名	担当者
上の原 1・2	塚越	神宝町 1・2	清水	氷川台 1・2	青木
大門町 1・2	小野	浅間町 1・2	山口	浅間町 3	茅野
学園町 1・2	平山努	南沢 1・2	別処	南沢 3・4	小山田
南沢 5	片平	南町 1・2・3・4	小山田	前沢 1・2・3	山縣
前沢 4・5	横田	滝山 1・2・3	中村	滝山 4・5	
柳窪 12345	船津	滝山 6・7	梶井	野火止 1・2・3	金子
幸町 12345	金子	八幡町 2・3	坂井	小山 12345	松崎勉
本町 1・2	有賀	本町 3・4	大矢	中央 123456	大塚
新川 1・2	小野	下里 1・5・6・7	金子	金山 1・2	塚越
東本町 5	大矢	下里 3・4	船津	弥生・市外	大矢
ひばりヶ丘団地	平山努	八幡町 1	金子		



<訃報> 比護喜一郎会員 2025年6月3日 ご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

<会員リレーエッセイ> ～噴水広場～

四万温泉へ

坂井淑晃 (S44 理工)

4月22日の午前9時20分、吉祥寺駅発の草津温泉行高速バスで中之条下車、路線バスに乗り換えて四万温泉1泊旅に向かうお誘いをH先輩からいただきました。バスの手配は93歳の大先輩、宿の手配は温泉旅が得意のAさんという4人組です。



大先輩は地元、H先輩は滝山からバスで武蔵小金井～中央線吉祥寺、残りの2名は東久留米駅8時13分発の西武線～武蔵野線～中央線ルートで9時03分には吉祥寺駅に到着という予定です。保谷からバス、或いは大泉学園からバスで吉祥寺北口という選択肢もありますが、バスは時折遅れますので最も安全と思われる交通手段を選びました。また自宅から駅までもバスを利用せず、堅実な徒歩約30分で向かいました。

約束の待ち合わせ時刻ちょっと前に東久留米駅に到着すると、何やら駅前に人があふれています。変だなあと思いつつ改札口に上がってみると、たま～るか、大勢の人また人。大泉学園での人身事故で池袋方面と所沢方面の何れも運休、運転再開見込みは9時半頃とのアナウンスでした。こんな事態には在住四十数年の間、遭遇したことはありません。Aさんとは無事合流できましたが、西口のバス乗り場は

全て長蛇の列、タクシー乗り場も然りで、呆然とするばかり。さてどうするか？

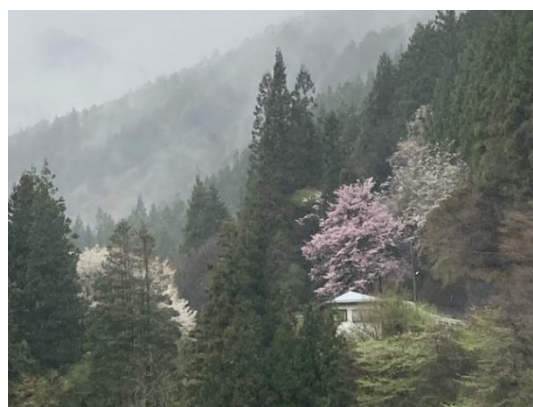
先ず思いついたのは大先輩とH先輩への電話、遅れそうなことを連絡してお詫びすることでした。それからAさんの提案で、他のバス路線がありそうな所沢街道・新所沢街道辺りまで歩き始めました。自分ひとりだったらきっとその前にギブアップするだろうな、と思いつつ。肝心の電話は一向に通じません。大先輩の携帯電話は「電源が切れているか電波の届かない場所」とのアナウンス、H先輩の携帯は呼び出しているものの何度かけても応答なし（後で聞くと充電中のまま忘れて来たそうな）。すいすい先を行くAさんの後を追ってとにかく全力で歩き続けること 30 数分、何とか目標の場所にたどり着きました。

ちょっと待つと、通りかかったバスの乗車ドアがたまたま開きました。すると、前に並んでいた7～8人が満員で乗れそうにないと諦めたスキを見て、Aさんが強引に乗車したのです。執念を感じます。遅れまいと後を追って何とか乗り込みましたが、今度はドアが閉まりせん。迷惑そうな周囲の様子を無視しつつ中へ中へと押し続けていると、やっと閉ってくれました。ひょっとして始発の高速バスが待っていてくれるかもと期待しつつ、武蔵小金井駅で電車に飛び乗り吉祥寺駅に到着したのが9時27分ごろ、走って北口の高速バス停に向かいましたが、発車したバスが向こうの角を曲がるのがチラッと見えました。残念です。後で聞いたら、運転士さんが5分待ってくださったとのこと。（不乗証明書も書いてくださっていましたので、後日払い戻しも出来ました。）

宿を予約したAさんとしては、ここでギブアップする訳には行きません。電車で追いかけてようというのです。新宿に出て湘南新宿ラインと高崎線を使い継いで高崎へ、上越線に乗り換えて新前橋、更に吾妻線で中之条駅に到着したのが午後2時ごろでした。途中乗り間違いがあり余計に時間が掛ってしまいましたが、後期高齢者としてはまあ上出来の部類でしょう。新前橋駅ではAさんが昼食代わりのパンを買ってきてくださいました。先輩たちは12時20分に到着しているはずですので、1時間40分の遅れです。

中之条では大先輩の携帯に電源が入っていましたので、やっと積もる話が可能に。きっと追いかけて来ると確信していらっしゃったのでしょう。田村旅館に到着すると大先輩もH先輩も「早かったなあ」と言いながら、玄関でにこやかに歓迎してくださいました。何事も執念と努力を思い知らされた1日でした。

温泉でゆっくり疲れをいやし、美味しい夕食をいただき4人仲良くぐっすり。翌朝は昨日のご褒美とばかりの朝霧と満開の桜を満喫することができました。大先輩撮影の写真をご覧ください。



（あんなにお元気でいらっしゃったH先輩は6月3日に急逝されました。とても残念です。）

編集後記

この10年ほどで、小学校・中学校・高校の数は10～15%ほど減少しているそうです。少子化の影響は深刻ですが、その一方で大学の数は増えているというのは少し不思議な気がします。私たち早稲田の卒業生にとって、学びの場の大切さはよく分かっていますが、学生が減る中で大学だけが増えることには少し違和感もあります。これからは、数を増やすよりも、教育の質や学びの中身を大切にしていける時代なのかもしれません。母校で培った思考力を生かし、教育のあり方について改めて考えていきたいですね。（この文章は生成AIに書いてもらいました。いくつかの単語をいれ、2回ほど書き直してもらいました。すごいものですね・・・・・・・・）

編集委員：片平るみ

